

若槻廃食用油回収プロジェクト



ご家庭で使用済の天ぷら油を回収し、資源として、再利用しています



主な私たちの活動を紹介します



事業の概要

これまでご家庭で、処分が困っていた天ぷら油を回収して、資源として、再利用する活動をしています。ご家庭で、ペットボトル等任意の容器に入れて、自治体リサイクルセンターに持ち込み。計量カップで計量したあと、特製金網を通して油粕等を取り除き、用意したペール缶（20L）に注入して、保管庫に一時保管。満杯になった時点で、収集運搬業者に引き取ってもらい、精製工場に搬入。そこでBDF（バイオディーゼル燃料）を製造。ディーゼル車・重機・発電機・SAF/航空機の燃料及び、塗料・石鹼の原料など、各用途に利用されています。

回収は、毎週土曜日9：30～11：30 若槻団地自治会館リサイクルハウス前で行われ、会員スタッフが交代（当番制）で立合います。1回で平均して約5L、月にして約20L（ペール缶1缶）が持ち込まれます。持込者には、ささやかではありますが、粗品（トイレットペーパー1巻き）を差し上げています。（但し、動物性油脂（ラード・バター等含むもの）及び、古い油（5年以上経過もの）は、回収できません）

これは、長野市が行っているサンディーリサイクル事業を補完するものですが、住民が持込易い、より身近なところで回収するもので、地域住民から大変喜ばれています。

本事業は、2023年6月、若槻団地自治会区長経験者の有志5人で、プロジェクトを発足。その後、協力者が増え、今では10名程で構成。さらに若槻団地区長OB会の後援もいただき、協力の輪が膨らんでいます。

前年度回収実績

・ 令和5年度（2023年6月～2024年5月）	持込者数	274人
・	回収実績	218.5L



（リサイクルハウス全景）



（天ぷら油注入）



(夏の回収作業)

令和6年度基本方針

- ・ 定例回収作業の継続
- ・ 各種イベントに参加
- ・ セミナーの開催
- ・ 他地区での事業立ち上げへの協力
- ・ 地域環境保全の啓蒙活動の推進

事業計画（主なるもの）

- ①信州環境フェアに参加 2024年6月
- ②ながの環境フェアに参加予定
- ③コミわかフェスティバルに参加予定

今後の課題として

- ①他地区への認知・展開
- ②広報の拡大・セミナーの開催
- ③環境関連諸官庁及び団体の協力
- ④若者の参画



(冬の回収作業)



(スタッフ勢揃い)

終わりに

地元住民主体で立ち上がった当活動ですが、一自治体だけでは、大した量にはなりません。我々だけでなく、他地区へ広がっていくことが、何より念願するところです。そのための協力・支援は惜しみません。大河の一滴になりたい。

プロジェクトリーダーから一言

ながの環境パートナーシップ会議の一会員として、プロジェクトサポーターの直富商事様のご支援とご協力をいただき、1年間やって来ました。今や天ぷら油がジェット機の燃料になる時代、脱炭素・地球温暖化防止に貢献し、資源の有効活用に尽力して行く所存ですので、これまで以上のご支援をよろしくお願いいたします。



リーダー 轟 光昌